

# 役員名簿

(平成17年5月現在)

役職名	氏名	略歴
理事長	高島良正	理学博士 九州大学名誉教授
副理事長	松藤泰典	工学博士 九州大学名誉教授 北九州市立大学国際環境工学部教授
副理事長	持田勲	工学博士 九州大学名誉教授 九州大学産学連携センター特任教授 (独) 科学技術振興機構研究成果活用プラザ福岡館長
常任理事	川野田實夫	大分大学教育福祉科学部教授
常任理事	楠田哲也	工学博士 九州大学大学院工学研究院教授
常任理事	森元豊	九州電力(株) 環境部長
理事	浅野直人	福岡大学法学部教授
理事	浮田正夫	工学博士 山口大学工学部教授
理事	坂元隼雄	理学博士 鹿児島大学理学部教授
理事	辻雅男	農学博士 九州大学大学院農学研究院教授
理事	槌本六良	医学博士 長崎大学名誉教授 長崎国際大学健康管理学部教授
理事	中野芳輔	農学博士 九州大学大学院農学研究院教授
理事	百島則幸	理学博士 熊本大学理学部教授
理事	矢幡久	農学博士 九州大学熱帯農学研究センター長・教授
監事	衛藤信久	(株) 福岡銀行常任監査役
監事	小田部順一郎	ふくぎん保証(株) 取締役社長

役員名	氏名	略歴
評議員	有川節夫	理学博士 九州大学理事・副学長
評議員	池田元輝	農学博士 九州大学大学院農学研究院教授
評議員	今石宣之	工学博士 九州大学先導物質化学研究所長・教授
評議員	今村昭夫	財団法人 九州経済調査協会理事長
評議員	内海英雄	薬学博士 九州大学大学院薬学研究院教授
評議員	島岡隆行	工学博士 九州大学大学院工学研究院教授
評議員	薛孝夫	農学博士 九州大学大学院農学研究院助教授
評議員	中野勝之	工学博士 福岡大学工学部教授
評議員	西田哲明	理学博士 近畿大学産業理工学部助教授
評議員	野中敬正	工学博士 熊本大学工学部教授
評議員	花嶋正孝	工学博士 福岡大学名誉教授 福岡県リサイクル総合研究センター長
評議員	馬場敬之	西日本環境エネルギー（株）常務取締役
評議員	二渡了	工学博士 北九州市立大学大学院国際環境工学研究科教授
評議員	宮島徹	理学博士 佐賀大学理工学部教授
評議員	柳哮	理学博士 九州大学名誉教授
顧問	小野勇一	理学博士 九州大学名誉教授 北九州市立いのちのたび博物館長
顧問	竹下健次郎	工学博士 九州大学名誉教授 元当協会副理事長
顧問	中西弘	工学博士 山口大学名誉教授 前当協会副理事長

## — 編 集 後 記 —

2004年は、アテネオリンピックが盛大に開催され、日本人選手の大活躍のニュースに、日本中が明るい気分でみなぎりました。

ところが、記録的な猛暑、秋からは気象庁始まって以来の連続した台風の上陸、新潟県中越地震と立て続けに災害に見舞われ、年末にはスマトラ沖大地震による巨大津波で周辺の国々に多くの犠牲者が出ました。これらから、日本漢字能力検定協会主催の「今年の漢字」で、2004年の世相を象徴する漢字として「災」が選ばれました。

さて、2005年1月1日に「使用済自動車の再資源化等に関する法律」(自動車リサイクル法)が完全施行され、自動車のリサイクルシステムがいよいよ動き始め、循環型社会システムが、また一步前進しました。

また、2月16日には、地球温暖化対策の第一歩である「京都議定書」が発効しました。2008年から2012年の間で、CO<sub>2</sub>の排出量を日本は「京都議定書」で約束した1990年比マイナス6%を達成する義務を負うことになっていますが、温暖化ガスの国内排出量は、今も増加し続けています。今後、対策を加速しなければなりません。

(財)九州環境管理協会(以下当協会という)は、「福岡県地球温暖化防止活動推進センター」の指定を福岡県知事から受け、2004年4月から活動を始めました。現在、情報提供や地域活動の支援、地域ネットワークづくり等に力を注ぎ、福岡県内の地球温暖化防止の一翼を担っています。

さて、『環境管理』第34号は、冊子のサイズを従来のB5判からA4判に紙面を変更し読み易くしました。2005年は当協会が設立後34年の節目の年でもあり、心新たに初心に返り表紙のデザインも刷新しました。また、当協会の高島良正理事長は環境管理の発行責任者として、編集にも積極的に係りご尽力いただきましたが、2005年5月末に任期満了により理事長を退任いたします。そこで、巻頭言には当協会の役員に就任してから今日までの歩みについて

お書きいただきました。

論説では大分大学教育福祉科学部・川野田實夫教授に、市民・学生参加型川づくり「里の川プロジェクト」の紹介を、また、北九州市立大学大学院国際環境工学研究科・二渡了教授に、環境マネジメントシステムと環境経営の動向を、福岡大学工学部社会デザイン工学科・山崎惟義教授に、溪流釣りに学ぶ水環境学をお書きいただきました。特別寄稿論文としては、福岡県保健環境研究所専門研究員松尾宏氏に施肥による地下水の硝酸性窒素汚染問題とその課題、福岡市保健環境研究所主任研究員中牟田啓子氏に金線を用いた地下水水銀汚染原因調査方法について、それぞれのご高説を賜りました。これに当協会職員の研究報告を3編加えて、内容豊かな会報として発行することができました。

お忙しい中、本誌のためにご寄稿いただきました諸先生方に心から感謝申しあげます。

年初めの当協会玄関には、「日日思考 日日前進」と理事長の訓示が掲示されました。何をなすべきかを常に考え、また前進する彼方には明るい世界が広がっていくことを信じて毎日を過ごしたいものです。

(編集担当：北森・吉村)

### 財団法人 九州環境管理協会 会報 「環境管理」第34号

平成17年5月1日発行

発行者 高島良正

発行所 (財)九州環境管理協会

〒813-0004 福岡市東区松香台1-10-1

TEL (092) 662-0410(代)

FAX (092) 662-0411

印刷所 (有)一正堂

## 業務内容

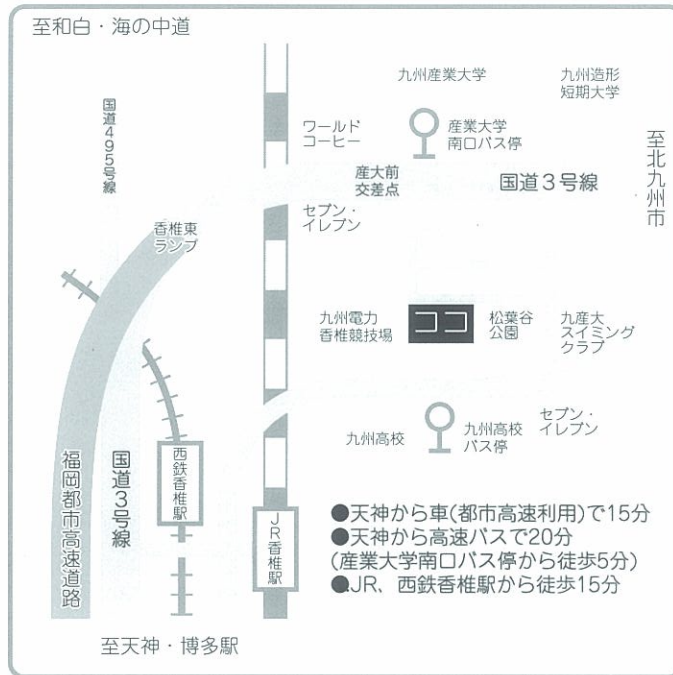
- 啓発事業** 環境教育 おもしろサイエンス(科学実験講座) 研究・開発  
「環境管理・Qかんきょう・減CO<sub>2</sub>クラブだより他」出版 等
- 計画設計** 環境基本計画 地球温暖化防止計画 都市及び地方計画  
農村環境計画 ビオトープ計画 廃棄物・リサイクル計画  
新・省エネルギービジョン 公園・緑地計画 設計等
- 予測解析** 環境アセスメント 数値シミュレーション GIS解析  
景観シミュレーション 環境・都市情報システム開発 等
- 調査分析** 海洋調査 植生・動物調査 生態系調査 生物分類・同定  
地下水流動調査 解析 環境分析 ダイオキシン類分析  
環境放射能測定・調査・解析 放射性炭素年代測定 等

## 指 定

福岡県地球温暖化防止活動推進センター(15環政地第132号)

## 登録 認定 認証

建設コンサルタント 計量証明事業(濃度・音圧・振動加速度レベル)  
土壌汚染対策法に基づく調査機関 特定計量証明事業(ダイオキシン類)  
飲料水適正検査 作業環境測定 温泉成分分析検査  
環境省ダイオキシン類受注資格認定  
ISO9001認証(分析科学部)



## 財団法人九州環境管理協会



### ■本部

〒813-0004 福岡市東区松香台1丁目10番1号  
TEL 092-662-0410 FAX 092-662-0411  
<http://www.keea.or.jp/>  
e-mail:webadmin@keea.or.jp

### ■熊本連絡所

〒860-0073 熊本市島崎5丁目46番26号  
TEL/FAX 096-328-8322



### ■福岡県地球温暖化防止活動推進センター (九州環境管理協会内)

TEL 092-674-2360 FAX 092-674-2361  
<http://www.keea.or.jp/center/index.html>  
e-mail:fccca@keea.or.jp



# Environmental Evaluation

環境管理



大豆由来インクで印刷しています。



古紙の比率100%再生紙を使用しています